



菊池学園事業実践報告会(第2回菊池学園担当者部会) <その1>

8月20日(金)の13:30より、いの町役場のホールにて、菊池学園事業実践報告会(第2回菊池学園担当者部会)を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のためリモート報告会となりました。今回の研究所だよりでは、2号に渡って報告会の様子をお送りします。



◇教育長あいさつ(抜粋)

本日の会では、菊池省三先生からお示しをいただいた5つの視点に基づき、各中学校ブロックが実践してきたことを報告していただくことで、各学校が1学期の取組を振り返るとともに、他校の実践を知り、菊池省三先生から講評や助言をいただき、2学期以降の実践に役立てることを目的としています。

各学校の成果や課題はそれぞれ異なると思いますが、参加されている先生方が本実践報告会で学んだことを学校に持ち帰り、全教職員で共有して、各学校・ブロックでの取組をさらに進化させていきたいと考えています。

本川中ブロック

発表者：森田 美香 教諭

◆保小中連携

- ・児童生徒数が少ないため、合同の行事を年3回行い、連携を図っている。

◆ほめ言葉・成長ノート・価値語

- ・小学校では、全校でほめ言葉のシャワーを行っている。中学校では、留学生が多いため、自己肯定感を高める取組としてほめ言葉のシャワー、価値語の植林、成長ノートを活用している。
- ・本川中学校は、価値語カレンダーを作ったり、生徒の成長を全校で認め合ったりしている。

◆動きのある対話・話し合い

- ・対話・話し合いがある授業づくりや、信頼し合い自己開示できる学級づくりについて課題意識を持って取り組みたい。

菊池先生より

- ・本川中校長から、菊池学園は子どもにとってとても大事なものだ聞いた。**この取組の価値**を踏まえて、**やる気**をもらっています。
- ・保・小・中のマンネリ化を防ぐためには、**よりよいものに変えていこうとする姿勢**で、工夫して取り組むことが大切です。
- ・**黒板を子どもに開放していく取組**は、先生だけが黒板に書いていくのではなく、子どもたちにもいろいろな面で解放されていくことでしょう。
- ・ありがたいの作文は、子どもの成長ノートにもなります。**エピソードを取り上げたり、子どもの成長ノートのテーマにも挙げたりすると、効果が出てきます。**

吾北中ブロック



発表者：田村 佐緒里 教諭
大倉 智也 教諭

◆ほめ言葉・成長ノート・価値語

- ・「表現力」に乏しく、「成功体験」が少ないので、「成功体験」を増やし、他者とのつながりにより「自己肯定感」を養い、児童生徒同士の深まりを大切にしたい。
- ・全職員で「ほめ言葉のシャワー」に取り組んだ。各学年でつながりが深まり、当たり前前の雰囲気が浸透している。
- ・「スクールライフ」を成長ノートに位置づけ、教師と生徒が毎日コミュニケーションをとってきた。学年によっては、思いや価値語も書かせている。
- ・全校集会で、月1回各クラスで作成した価値語の発表を行った。表現を鍛える効果も狙い、その価値語を作った理由も含めて全体の前で発表をしてきた。

菊池先生より

- ・活動が目的ではなく、**子どもたちの幸せや生き方（人間を育てる）等にもつながっていくことが大切です。**
- ・少人数の学校では、コミュニケーションが難しい。ほめ言葉とか、価値語、成長ノートなどで、**コミュニケーションを鍛えることが大事です。**
- ・全校の前で発表する時、**公の言葉を使って発表する**機会があると、満足感や達成感を味わうことができる。
- ・ほめ言葉のシャワーについてマンネリ化の声を聞くが、**漢字**を使ったり、**四字熟語**などを含んだり、**比喩表現**を取り入れたりすると、価値ある言葉となります。
- ・対話についての振り返りを、児童自身にもさせることで、次の場面に活かせるのではないのでしょうか。



伊野南中ブロック

発表者：池尻 早紀 教諭
國廣 ゆか 教諭

◆価値語の植林

小中学校とともに各学級で、掲示方法を工夫して写真に価値語を付けて掲示している。担任は常にカメラを身に付け、子どものいいところを撮るようにしており、中学校では事務職員も価値語を考えている。

◆成長ノート

テーマを設けて、全学年で取り組んでいる。教師とのやりとりに使っている。通信で紹介し、地域への情報発信をしている。

◆ほめ言葉のシャワー

友達や担任からだけでなく、校長や養護教諭、地域の方からのほめ言葉も紹介している。

◆動きのある対話・話し合い

中学校では、グランドルール（話し合うためのルール）を設定している。

菊池先生より

- ・1学期はルールや関係づくりに関わる価値語を植林したかもしれませんが、**2学期は対話的学びに向かう価値語に比重をおきましょう。**
- ・グランドルールについて、ルールというどうしてもしつけになってしまいます。対話をしているという**形だけにならないよう**、授業が変わってきたら、**ルールもパワーアップ**させましょう。
- ・グランドルールがあっても、一部の子しか考えを持てなければ対話は難しいです。**対話をさせるには、一人一人に自分の考えを持たせることが大切です。**考える時間を与えたり、友達にフォローしてもらったりという工夫が必要です。